外海の魚が獲れました！

東京内湾で外洋に生息するトビウオとカツオの仲間が獲れました。

平成 21 年 7 月 21 日、芝浦運河でトビウオがタモ網で掬われ、翌日、当協会に寄贈されました(石川威夫氏・芝漁協)。本種はオキトビ(*Danichthys rondeletii*)という外洋性のトビウオでした。

図 1 採捕されたオキトビ(全長 30.2cm、体重 128g)

また、平成 21 年 10 月 16 日、羽田空港東側海域の三枚網調査(当協会)でカツオの仲間のマルソウダ(*Auxis rochei*)が 1 尾採捕されました。

図 2　採捕されたマルソウダ(叉長 30.4cm 体重 492g)

図 3　採捕場所

オキトビ、マルソウダ共に外洋を群れで回遊する魚類です。いずれも 1 尾ですが、それがどうして湾口から入り込んだのでしょうか？

なお、昭和 57 年 7 月にサンマの大群が湾奥(越中島)まで来遊したこともあります。